



図書だより



2022年の立冬は11月7日(月)です。暦の上では冬になりました。いよいよ寒い季節がやってきますね。さて、みなさんは中教研学力調査を終えたと思えば次は期末評価が待っています。新たに本を選んで楽しむ余裕なんてない！というときにおすすめなのが、読んだことのあるお気に入りの本をもう一度読んでみるということです。内容を知っている本は何より落ち着きます。思いがけず新しい発見があることもあります。試してみてくださいはいかがですか。

クイズ

Q1 本は必ずすべて分類に分けることができますが、全部で何分類に分けられているでしょうか？

Q2 図書室では何冊まで本を借りることができるでしょうか？

Q3 図書室にある検索システム「OPAC」は舟橋中学校とどこの図書館とを繋いでいるでしょうか？

(答えは図書だよりの最後にあります。)

図書委員のおすすめ図書



「あるかしら書店」ヨシタケ シンスケ/ポプラ社

作者であるヨシタケさんが空想する、こんな本があったら…？をたくさん紹介した本です。自分も実際に読んでみたいと思うようないろいろな本のアイデアが紹介されていて面白いです。また絵本のようにイラストがたくさんちりばめられているので、気軽に読める本です。

(おすすめする人 1年1組 M)



「ナミヤ雑貨店の奇蹟」東野 圭吾/角川文庫

悪事を働いた少年3人が逃げ込んだ廃家は、過去と未来が手紙で繋がる不思議な雑貨店でした。廃業しているはずの店内に、突然シャッターの郵便口から悩み相談の手紙が落ちてきて、3人は戸惑いながらも当時の店主に代わって返事を書き始めます。この本を読んだ後、信頼できる友人や家族に悩みを相談したくなりますよ。

(おすすめする人 2年1組 Y)



「はらぺこあおむし」エリック=カール/偕成社

みなさんもきっと読んだことがありますよね。この作品は食欲の秋のこの季節にピッタリです。色鮮やかで、仕掛けもついているので、読んでも、見ても、めくっても楽しめる絵本です。ぜひお腹が空いた状態で青虫の気持ちになって読んでみてください。

(おすすめする人 3年1組 M)